

# アユの異型細胞性鰓病 (ACGD) 診断・治療マニュアル

## 第2版が刊行されました

2024. 9. 17 栃木県水産試験場

日本水産資源保護協会からアユの異型細胞性鰓病 (ACGD) の診断・治療マニュアル第2版が刊行されました。

ACGD は、通称「ボケ病」と呼ばれ、養魚場のアユに突然の大量死を引き起こすことで、1990年代頃から問題となっています。平成23年3月の初版刊行以降、本疾病の原因が *Plecoglossus altivelis* poxvirus (PaPV) と特定されるとともに、死亡発生に与える水温の影響や河川の天然遡上魚での感染状況、感染耐過魚および凍結保存魚などの感染源としてのリスクなどについても、新たな知見が得られたことから、それらの知見を加えて大きく改訂を行い、第2版が刊行されることとなりました。当场では、感染リスクの低減や被害を少なくするための対処方法について担当しました。

本マニュアル ([acgdmanual.indd \(fish-jfrc.jp\)](http://acgdmanual.indd(fish-jfrc.jp))) を、ACGD の迅速な診断や対処、防除対策にぜひご活用ください。

